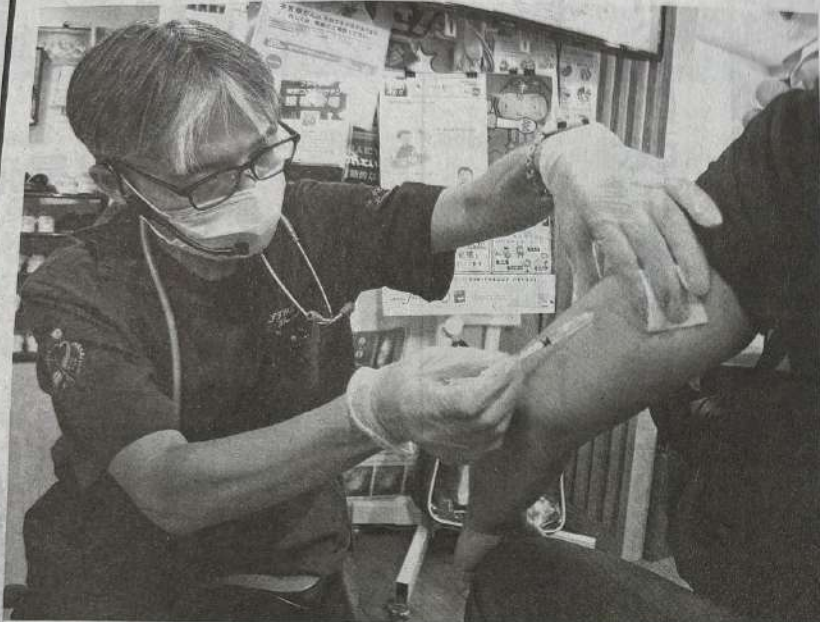


インフル 列島厳戒

早期流行 感染者数7倍

インフルエンザの感染が異例の早さで流行している。8月に流行入りした後、感染は拡大しており、厚生労働省が今月9日に公表した最新の発生状況によると、全国約3千の定点医療機関から9月28日～10月4日に報告があった感染者数は1機関当たり11・35人と前週の約1・6倍に増え、「注意報」レベルとされる1機関当たり10人を今季初めて超えた。感染者数の合計は前年同期の約7倍に上った。厚生労働省は、発熱やせきの症状がみられる場合は、早めの受診を呼びかけている。

(原川貴郎、橋本愛)



東京都北区のクリニックには、多くの人がインフルエンザの予防接種に訪れていた
—14日午後、東京都北区(橋本愛撮影)

厚生労働省はインフルエンザの流行入りを8月28日に発表した。感染症法が施行された平成11年以來2番目に早く、昨年より1カ月以上早かった。感染は拡大傾向にあり、今月4日までの一週間の1機関当たりの報告

ワクチン接種 マスク手洗い重

数値は、全世帯の流行開始の目安である1013人を大きく超えた。平均報告数は、沖縄の37・07人が最多となった。以下、埼玉19・66人、千葉18・72人、神奈川県、千葉18・72人、東京15・87人、茨城13・60人などとなっている。沖縄が警報を発令しているほか、各地の自治体も相次いで注意報を出している。

全国では、計4万23した。

降はテレワークに「例年8、感の強さをうかがった。」と話

北区では例年、11日は16も患者数

11日午

住む男性

転した。

と来て「

然、血相

からだ。

2日ほ

崩してい

男(10)の

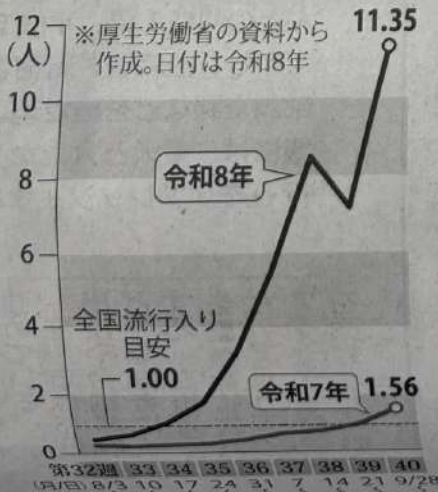
警運転教

■増える患者

異例の早さで始まったインフルエンザの流行を受け、一部の自治体は高齢者らを対象とするワクチン接種を前倒しで始めた。厚生労働省の関係者はいまのところ、感染拡大のスピードを「想定範囲内」としているが、冬場にかけて感染はさらに広がる恐れもある。

14日午後、東京都北区の「いとう王子神谷内科外科クリニック」で、会社員の男性(48)がインフルエンザの予防接種を受

インフルエンザ感染者数の推移 (定点医療機関1施設当たり報告数)



今年は9月

ルエン
疫を持
っかけ
夏休み



長雨
今季の
て、科
たもの
どれ